

妊娠前からのヘルスケア（プレコンセプションケア）の推進について

1 目的

若者世代に対し、妊娠前からのヘルスケア（プレコンセプションケア）に関する啓発等を実施し、安心・安全な妊娠・出産の実現を促進するとともに、健康に関する知識をあわせて普及啓発を行うことで、次世代を担う若者たちの健康意識の向上を図る。

2 事業の概要

(1) 啓発リーフレットの作成・広報啓発

令和元年～2年度母子保健専門部会、徳島県産婦人科医会との連携により、プレコンセプションケア、生活習慣病や感染症予防等に関するリーフレットを作成。リーフレットを活用のうえ、健康教育、フォーラム等の機会を通じて啓発等を行う。

(2) 教育分野との連携

学校保健等と連携し、中高生・大学生などに対する普及啓発・健康教育を実施する。

<令和3年度>

県教育委員会作成「中高生・次世代版とくしま親なびプログラム集のテーマの一つに「プレコンセプション」の追加を検討。

(参考)「中高生・次世代版とくしま親なびプログラム集」とは

名称：家庭教育推進ワークショップ 中高生・次世代版とくしま親なびプログラム集

対象者：中高生やこれからの家庭や社会を支えていく次世代の全ての方

内容：家庭や社会の中で自分らしく自立するために大切なテーマを扱い

同じ学校の生徒同士、同年代の仲間同士がファシリテーターの進行により

プログラム集を活用しワークショップを実施する

アドバイザー：鳴門教育大学木村直子氏（プログラム集の作成やファシリテーター養成にかかる助言）

ファシリテーター：一般保護者や家庭教育の推進に理解のある地域住民

○実績（R2年度）：申し込み6校（中高・大学院・フリースクール）にて実施

<今後の流れ>

- ・プレコンセプションリーフレット等を基本に、アドバイザー木村氏がワークショップ用の資材（案）を作成
- ・周産期医療協議会・母子保健専門部会等、専門の先生方に御意見をいただき加筆・修正
- ・申し込みのあった学校にてプログラムを実施

(3) 企業等と連携した一般県民向け公開フォーラム等周知啓発の実施

プレコンセプションケア等を中心に、不妊症・不育症等に関する講演会、安心・安全な妊娠・出産に関する正しい知識について、産婦人科医等専門家による講演会の開催。